

直示用法の指示詞・人称詞にみる 日英の「場認識」の違い

新村朋美

tniimura@parkcity.ne.jp

直示用法の指示詞・人称詞にみる日英の「場認識」の違い

新村朋美

tniimura@parkcity.ne.jp

1. 要旨

英語と日本語の「場認識」の違い

英語:

- a) 認識の基盤は 抽象的「談話の場」
- b) 指示対象を脱現場化(抽象化)してとらえる
- c) 「話し手」も「聞き手」も 具体的現場から転位した
抽象的「話し手 (I)」「聞き手 (YOU)」という認知

日本語:

- a) 認識の基盤は「発話の現場」
- b) 話し手中心の場に 対象も聞き手も 位置づけてとらえる
- c) 「話し手のなわばり」「聞き手のなわばり」
- d) 話し手と聞き手は 現場の具体的関わりを持つ対話者

2. 指示詞の直示用法の日英対照

- 安藤貞夫 (1986): 「指示詞のダイクシスは言語普遍的にナワバリの原理で記述可能」 ?
- 金水敏・田窪行則 (1990): 日本語の「指示の基盤は常に現場および現実の経験にある」
- Lakoff, R. (1974): emotional deixis
- Lyons, J. (1981): emotional or attitudinal dissociation
- Strauss, S. (1993): 英語の指示詞は対象へのFOCUSの度合いを表す
THIS=High Focus, THAT= Mid Focus, IT =Low Focus
- Niimura, T. (2003): 日英の指示詞は対象をとらえるスタンスが違い、その機能も異なる
locating (日) VS presentational (英)

2. 指示詞の直示用法の日英対照

例①



Betty in *Archie Comics* (2001) Archie Comic Publications, Inc.

That (49%) was a wonderful book!
This (36%)
It (15%)

Once I started **it**, I couldn't put **it** down!

I definitely will want to read **this** one (78%)
that one (16%)
it (5%)

again.

話し手に近い対象指示: ☐ vs this/that/it

(Data from Niimura 2003)

例②



何描いてるの? 牛



これは 牛じゃないわ..
あのね、
ぼく本物の牛
見たことないの..



犬みたいよ..

Snoopy 9
どうしてなんだろう?
(2002)

That's (69%) not a cow.
This is (28%)
It's (3%)

It (75%) looks more like a dog.
That (17%)
This (8%)

これ (100%) は牛じゃないわ

それ (90%) 犬みたいよ
これ (10%)

話し手の掌中の対象指示: コ vs **that/this/it**
聞き手の掌中の対象指示: ソ/コ vs **it/that/this**

例③



ほら..



なんだい、
それ?

赤毛の子にあげようと思って
作ったバレンタインだよ...
君に見てほしいんだ...

Snoopy1 行くよ！今行くよ！
(2002)

What's

this (58%)
that (42%)

 ?

なんだい

それ (85%)
これ (15%)

聞き手の掌中の対象指示: ソ vs this

(Data from 新村他2011)

例④



さあ、やれよ..
ぶつけてみるよ!



こっちは二人、
そっちは一人...

Snoopy 3 どうだいすごいだろ？(2002) C.M. Schulz 作谷川俊太郎訳

There's two of **us** and only one of **you**...

こっちは二人、**そっち**は一人

話し手(コ)・ 聞き手(ソ)

例⑤



こんなうまいジェリー・
ドーナッツは食べたことないよ!

A Peanuts Book Featuring Snoopy 4 (1991)

That's the best Jelly doughnut
I ever tasted!

こんなうまいジェリー・ドーナッツは
食べたことないよ!

例⑥



Beryl the Peril (1994)

What's **that** disgusting odour?
なんだ、**この** 嫌な臭いは?

例⑦



Brr. **That's** a cold wind.
ブルブル、**これ**は冷たい風だ

話し手の直接経験の対象：**□** vs **that**

3. 人称詞の日英対照

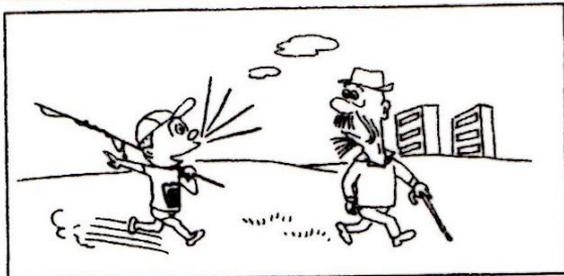
	英語	日本語
一人称	I (WE)	?
二人称	YOU	?

- 辻村敏樹 (1986): 『敬語の史的研究』
上代～現代の日本語の一人称(51種)、二人称(81種)
- 鈴木 孝 (1973): 『言葉と文化』
英語は絶対的自己規定、日本語は相手に依存して自己規定
- 本多啓 (1994): 『現代思想 vol.22 no.13』
見えない自分、言えない自分
- 李長波 (2002): 『日本語指示体系の歴史』
日本語の指示詞は古代から人称詞として使われてきた
- 三輪正 (2005): 『一人称二人称と対話』
日本語の一・二人称には上下公私強弱性別内外が色濃く反映

例⑧



ハチ なんて
はしって
たんだろ?



オー
トシはとり
たくないデ

例⑨



うそでしょ

いや、本気だよ

Snoopy 3 どうだい すごいだろ? (2002) C.M. Schulz 作
谷川俊太郎 訳

(英語)

(日本語)

I
YOU

VS

○
○

例⑩



ぼくんだ! おれんだ! 私のよ!

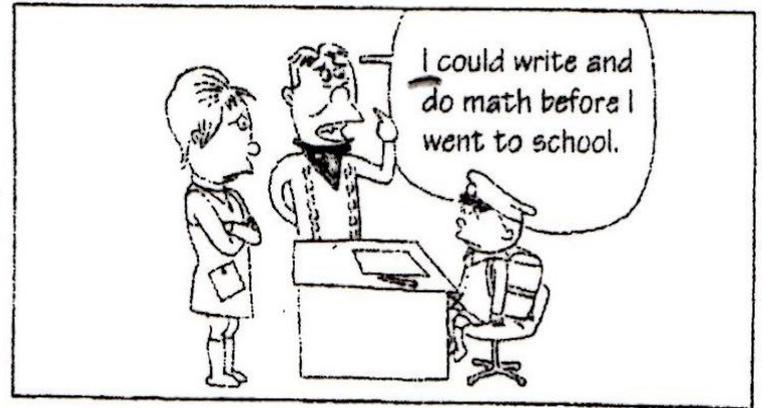
Snoopy 2 みんなそろったかい? (2002)

例⑪



ナマエもかけない
なんて

ママはずかしいワ

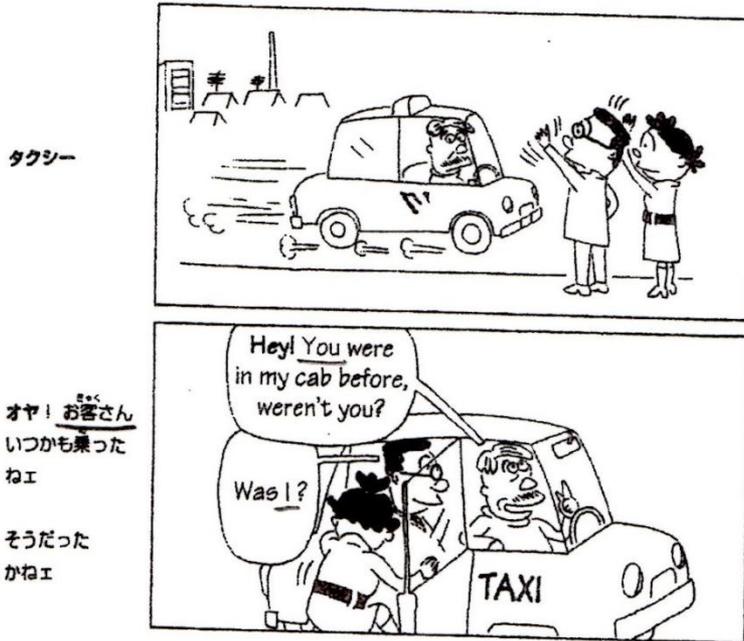


パパは入学前に
サンスウもコクゴ
もみんなできたン
だぞ

I vs ぼく・おれ・私

I vs ママ・パパ
(抽象的話し手) (具体的関係)

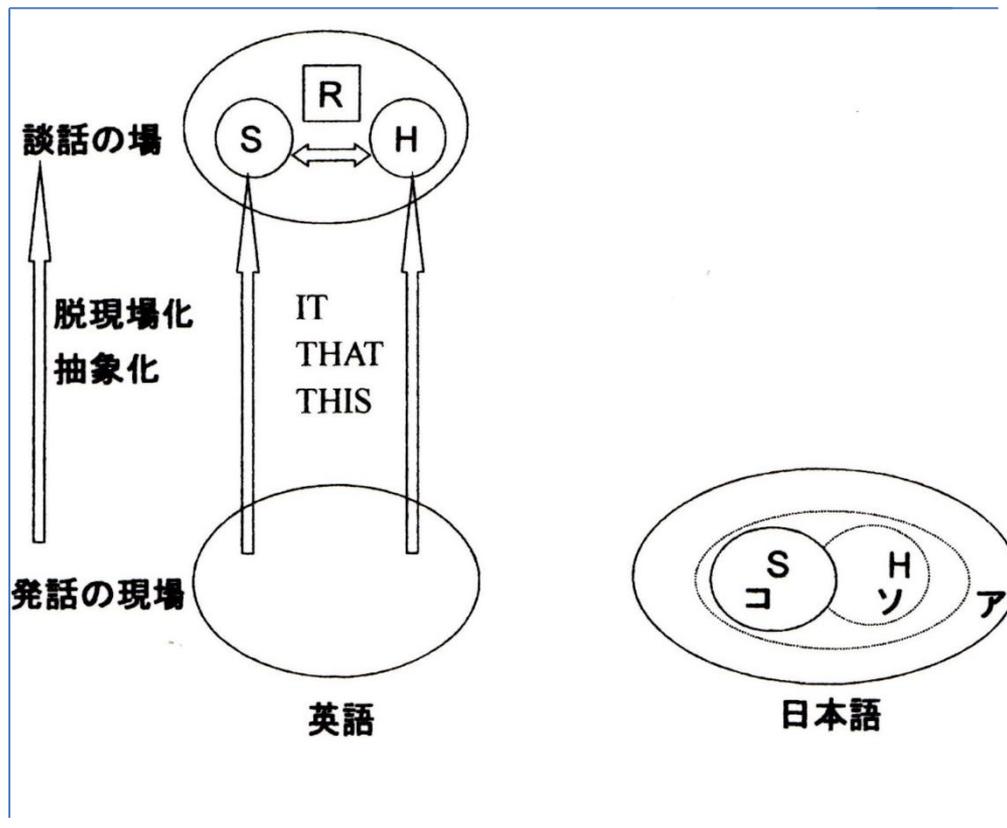
例⑫



YOU vs お客さん
(抽象的聞き手) (場の具体的関係)

対訳サザエさん12 The Wonderful World of Sazae-san (1997)
長谷川町子作 J. & D. Young 訳

4. 日英の「場認識」の違い



(英語)

- 指示対象Rや話し手S 聞き手Hを抽象化(脱現場化)して認知
- **認知の基盤は脱現場化した抽象的空間としての談話の場**

(日本語)

- 話し手Sは発話の現場に在って指示対象も聞き手Hも同じ現場に認知
- 「話し手のなわばり」「聞き手のなわばり」を認識
- **認知の基盤は発話の現場**